

## 山形県林政連絡会を開催しました

令和4年7月26日(火)、山形市の山形県自治会館会議室で令和4年度山形県林政連絡会を開催しました。この会議は、民有林と国有林の連携を深め林政を巡る諸問題に関する情報や意見を交換するため東北森林管理局管内5県でそれぞれ開催しているものです。

当日は、山形県から森谷農林水産部次長、福井森林ノミクス推進課長、梅津森林研究研修センター所長、各総合支庁森林整備課長が、東北森林管理局から長江次長、齋藤企画調整課長、各森林管理(支)署長、朝日庄内森林生態系保全センター所長らが出席し、「森林環境譲与税の活用促進に向けた対応状況」、「『新しい林業』に向けた対応」、「再造林・保育の低コスト化について」をテーマとして、情報や意見を交換しました。

「森林環境譲与税の活用促進に向けた対応状況」については、国・県双方で市町村を訪問して活用促進を図っている状況を、「『新しい林業』に向けた対応」では、森林管理局で「新しい林業実行プラン」を策定しその推進のための体制を局内で整備したことや、山形県で赤外線レーザー測量を進め境界の明確化等の推進を図っていることを、「再造林・保育の低コスト化について」では、森林管理局で大苗の生長量について今後データを収集していくことや、山形県で各地に植栽本数を異にする試験地を設けていること等について、それぞれ共有しました。

林政を巡る課題は、民有林・国有林共通するものが多く、引き続き、地域の民有林行政・研究機関等との連携を進めながら、課題の解決に取り組んでまいります。

